

令和6年度

滋賀県文化賞等受賞者

滋賀県文化賞

芸術文化（文芸文学） 柿本多映

滋賀県文化功労賞

芸術文化（音楽） 加藤登紀子
郷土文化（文化財） 津田弘道

滋賀県文化奨励賞

芸術文化（音楽） 大川修司
芸術文化（音楽） 中嶋俊晴
芸術文化（音楽） 西村有香里
芸術文化（美術） やまなみ工房

滋賀県次世代文化賞

芸術文化（音楽） 山本大心

文 化 賞



かきもと た え
柿本 多映

芸術文化（文芸文学）

昭和3年生 大津市在住

滋賀県大津市生まれ。京都女子専門学校卒。昭和51年に西武百貨店大津俳句教室にて句作を開始し、俳人として歩み始めた。赤尾兜子、橋間石、桂信子に師事。ふるさとの自然や事物などに題材を求めた句も多く、長年にわたり滋賀の文化の素晴らしさを高度なレベルで全国に発信した。心象風景に切り込む感性には独特のものがあ、俳句界において独自の地位を築いている。

昭和63年に現代俳句協会賞、令和2年に「柿本多映俳句集成」で、現代俳句の世界で最高の栄誉とされる「蛇笏賞」受賞、令和6年に「ひめむかし」で毎日芸術賞受賞など、多数受賞。

文化功労賞

かとう と き こ
加藤 登紀子

芸術文化（音楽）

昭和18年生 千葉県在住



東京大学在学中に、第2回「日本アマチュアシャンソンコンクール」で優勝し、昭和41年「誰も誰も知らない」でレコード・デビュー。昭和46年に「琵琶湖周航の歌」をカバーし、大ヒットとなる。

平成29年に、「琵琶湖周航の歌」100周年記念として、「びわ湖音楽祭」をプロデュース。自らも歌手として出演し、その後、歌詞に登場する地域において、音楽祭を開催し続け、令和6年度、第6回の音楽祭でファイナルを迎えた。音楽祭では、地元の合唱団なども出演し、地域とともに創り上げ、県民の文化芸術に触れる機会の創出に深く尽力した。また、県民に広く親しまれている「琵琶湖周航の歌」を長年歌い広めることで、「琵琶湖」を全国に広め、滋賀の文化芸術の振興に尽力された。

つだ ひろみち
津田 弘道

郷土文化（文化財）

昭和39年生 大津市在住



国宝や重要文化財等の指定文化財建造物の修理工事を数多く手掛ける等、本県の文化財建造物の保護に貢献。

昭和54年に、家業である「津田左官店」に入店。父であり、左官工（日本壁）として文化庁長官表彰を受け、さらに褒章（黄綬褒章）を授与された津田誠一氏のもとで修業を積み、国宝園城寺金堂、国宝彦根城天守等、多数の指定文化財の漆喰壁等の修理工事を自ら手掛けた。

また、平成30年から、文化庁認定の選定保存技術保存団体である（一社）全国文化財壁技術保存会（ユネスコ無形文化遺産登録）の理事に就任し、保存会の運営に努めるとともに、自ら研修の講師などを行い、後進の育成にも尽力している。

文化奨励賞



おおかわ しゅうじ
大川 修司

芸術文化（音楽）

昭和47年生 大津市在住

滋賀県立芸術劇場びわ湖ホールで、びわ湖ホール声楽アンサンブル指揮者として、数多くのオペラ公演の指揮や後進の育成に取り組む。

平成13年から、滋賀県立芸術劇場びわ湖ホールにおいて、副指揮、合唱指揮として活動し、滋賀県発信の日本トップレベルの公演を下支えしてきた。

また、平成30年からは、「びわ湖ホール声楽アンサンブル指揮者」として、さらに後進の育成に尽力するほか、年末に行うジルヴェスター・コンサートやオペラ公演における一般公募の合唱の指導を行っており、その指導は非常に高い評価と厚い信頼を得ている。

びわ湖ホールを中心として、20年以上にわたり活動を行っており、県内の芸術の振興・普及、発展への大きな一助となっている。今後、より一層、県の音楽文化の振興に寄与する人物であると期待される。

なかじま としはる
中嶋 俊晴

芸術文化（音楽）

昭和61年生 東京都在住

彦根市出身。文化庁芸術祭賞新人賞受賞。滋賀県だけでなく、国内外において精力的な演奏活動を行うカウンターテナーとして活躍。

京都市立芸術大学音楽学部声楽科を卒業後、東京藝術大学大学院古楽科に進み、修了後は更なる研鑽を求め、オーストリア・ウィーン国立音楽大学リートオラトリオ科、オランダ・アムステルダム音楽院バロック声楽科において学び、それぞれ優秀な成績をおさめ、令和3年に日本に完全帰国。

帰国後は、滋賀県のみならず国内外において精力的に演奏活動を行う。令和4年度文化庁芸術祭賞新人賞を受賞するなど、数々の受賞歴にも拘らず、常に地道に弛まぬ努力を重ねる姿勢は後進にも多大な影響を与えており、今後、更なる活躍が期待される。



写真：Martin Chiang



にしむら ゆかり
西村 有香里

芸術文化（音楽）

昭和54年生 大津市在住

県内のジャズイベントにおいて、中心的存在のジャズ・テナーサクソ奏者として活躍。

滋賀県立大学進学を契機に滋賀県に在住し、大津ジャズフェスティバル（第1回から第16回の現在まで連続出演中）やびわこジャズ東近江において、中心的存在のプレイヤーとして毎年出演している。

また、滋賀県だけではなく、大阪、神戸、京都などのライブハウスや、東京、名古屋など大都市での出演も増え、女性では、貴重なジャズ・テナーサクソ奏者として、パワフルな演奏が高い評価を受けている。

令和5年には、3枚目のアルバムをリリースし、念願のメジャーデビューを果たし、「なにわジャズ大賞」を受賞。今後、ますますの活躍が期待される。

こうぼう
やまなみ工房

芸術文化（美術）

昭和60年設立 甲賀市

昭和60年、やまなみ自立の家（現：やまなみ工房）を開設。国内外で展覧会を開催するとともに、平成29年に初の単独アメリカ展、令和元年に初の単独パリ展を開催。日本だけでなく、世界中に作品を発信し、高く評価される。

平成24年に、やまなみ工房のアート作品を使用したファッションブランドとのコラボ企画を開始。また、令和6年には、和菓子メーカーと連携し、和菓子とアートを組み合わせて販売するなど、障害のある方の文化芸術活動の取組と、そこで生まれる独創的な作品をより多くの人に広めるための取組を継続的に行っている。

障害のある方の文化芸術活動を推進するとともに、そこで生まれた作品を、さまざまな団体と協力し、日本だけでなく世界中の人に届け、作品の新たな可能性の拡大や、作品、作者が評価される取組を行うなど、今後、更なる活躍が期待される。



次世代文化賞



やまもと たいしん

山本 大心

芸術文化（音楽）

平成12年生 東京都在住

大津市出身。

中学1年より「佐渡裕とスーパーキッズオーケストラ」に入団し、高校卒業まで在籍。東京藝術大学附属高校、東京藝術大学卒業。

高校在学中に、平成29年平和堂財団芸術奨励賞受賞。大学在学中に、「若いヴァイオリニストのためのアルテュール・グリュミオー国際コンクール2019」で第3位を受賞。学内にて、東京藝術大学モーニングコンサートに選抜され、高関健指揮、藝大フィルハーモニア管弦楽団と共演。卒業時には、同声会新人賞、アカンサス音楽賞を受賞。令和4年度大津市文化奨励賞受賞。

NHK交響楽団アカデミーに合格し、アカデミー生として定期演奏会等に数多く出演し、3年間のアカデミーを修了。その実力と実績により、この春から、紀尾井ホール室内管弦楽団のシーズンメンバーに選ばれるなど、今後、更なる活躍が期待される。